

薬用植物園かわらばん

皆さ〜んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2019年
1月7日
第58号

イノコヅチ（ヒユ科）

新しい年が始まりました。今年の干支は猪ですね！植物の中には干支の動物の名を含んだものがあります、色々と探してみてください。和名「猪子藎」には今年の干支「猪」が含まれます。名の由来は、茎の節が太く、大きくなった所がありまして、これはイノコズチウロコタマバエの幼虫が寄生して膨らませた所で、これが、イノシシの膝頭に似ているところから付けられたようです。園内では山崎川沿いのフェンス周辺に蔓延しており、秋の果実は下向きで「ひつつき虫」になり、フェンスぞいの作業の時困らせてくれます。除草したいのですが、根が深くなかなか抜けなく、手をやきます。

イノコズチの変種、ヒナタイノコズチの根が、生薬の牛膝（ゴシツ）となり、活血薬として月経困難症に使用するほか、利水薬として関節痛、膀胱炎、関節炎のむくみに用いられます。また、イノコズチには、昆虫変態ホルモン（脱皮ホルモン）のエクジステロンが含まれています。

（写真は10月撮影です）



アシタバ（セリ科）

管理棟の並び、ネズミモチの生垣の下で、茎先に淡黄色の小さな花が多数集まった傘の姿がまだ残っています。葉を切っても明日には若葉が出てくるほど生育旺盛なことから「明日葉」の名が。柔らかい芽生えの葉を食用とし、抗腫瘍、抗菌作用が報告されてから、健康野菜として人気があります。アシタバはシシウド属（*Angelica*）に属していて、その仲間の植物には、トウキ、ノダケ、アマニュウ、シシウドなど、薬用、機能性食品として注目されているものもあります。

ところで、この中にも今年の干支が入った名があります。シシウドの日本語での漢名が「猪独活」です。もっとも、生薬の「独活」は、日本薬局方ではウドの根茎で、シシウドは使えません。ちなみに、中国語の「猪独活」は、日本にはない植物、*A. laxifoliata*を指します。